

## おおの宝さがしプロジェクト (岩手県立大学 & みちのく大寿会とコラボ)

岩手県立大学社会福祉学部及びみちのく大寿会との共同企画で今年度始まった「おおの宝探しプロジェクト」について、10/15(金)の大野高祭の中で、岩手県立大学社会福祉学部4年の岩部初音さんから、生徒、職員に報告をしていただきました。先月号では紙面の都合で写真のみの紹介にとどめておりましたので、今月号から3回の連載企画としてこのプロジェクトを広く紹介していきたいと思っております。なお、このプロジェクトは「過去」「現在」「未来」の3部構成となっており、今回は第1回のプログラムについてご紹介します。

### 第1回「過去」- まちあるきで大野の歴史を知ろう! -

【参加生徒】(2年生 8名)

太内田 亜依、奥寺 星華、金澤 彩花、上小路 莉音、  
小村 峰憂、繁 真帆、福島 光希、向明戸 快

【日程】 9月23日(木) 13:00~17:00

13:15 小規模多機能ホームくじひら集合

13:20 事前説明・グループ分け

13:30 まちあるき出発

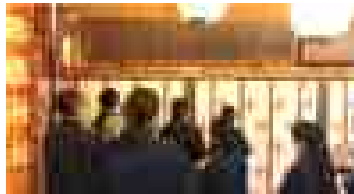
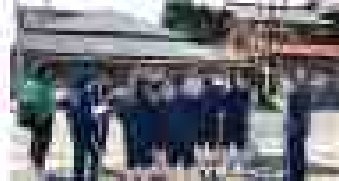
14:00 鳴雷神社着(宮司さんより神社や  
~14:30 大野の歴史についてのお話)

15:30 ひろのまきば天文台着(阿部先生より

~16:00 大野海成段丘や天文台についてのお話)

16:30 大野図書館着(まとめ、諸連絡)

17:00 解散



【参加生徒の感想】

・「これから人口が少なくなっていく中で、過去から受け継がれてきた人の関わりが今の太野にあると思うので、地元で行われるお祭りやコンサートには自分から積極的に参加したいです。」  
・「今回町歩きをしてみて、自分の通学路など本当に身近な所に昔の歴史があって驚きました。高校の近くにも砂鉄の地層があったり、街中の方には旅館がたくさんあったり、鳴雷神社の歴史や観音通りのことなども知ることができ、このことを私たちがよりも若い世代の人たちに教えていけたらなと感じました。」  
・「太野は幸せがいっぱいだと思うし、太野のみんなが安定した暮らしをしているから、太野全体が福祉だと私は思います!」  
・「長く暮らしていても知らない太野をたくさん見つけることができ、改めてこの太野を守りたいと思えました。私は小さい頃からずっと太野の人が大好きで、高校を決める際も、最終的には太野の人の温かさを感じたのが決め手です。その人柄の良さは、この町が作り出してくれたのだと思いました。」

・「私たちは地元が大好きで、太野愛で溢れていますが、みんな心のどこかでは都会のように賑わう町にあこがれる気持ちがあると思います。高校を卒業して、地元を離れて違う町に行くとしても、そこで見たものや感じたもの、太野に持って帰りたいものを見つけ、それを太野の活性化の一部に役立てることも、私たちにできることの1つだと思います。」  
・「今回太野の過去から現在への変化を学んで、私たちが過去の太野の歴史や文化を受け継ぎ、後世に伝えることで、いつまでもその歴史や文化は残るのだと感じました。」  
・「私が生まれ育った地はこんなにも歴史があることを知ることができました。ただののんびりした田舎というイメージから一変して地形も建物も歴史も誇れる太野というイメージに変わりました!」  
・「私の中では福祉という言葉は「介護」が頭に浮かんできました。ですが、この企画を通して福祉にはたくさんの意味があると知りました。自分たちが生活している中で「当たり前」だと思っていることの中に、福祉は存在しているのではないかと感じました。」

## ★ グラウンド整備ありがとうございました!!

今年度、同窓会の皆様により数回にわたりグラウンドの草刈りを行っていただいておりますが、洋野町建設課にも相談したところ、町側の特段のご配慮により、このたび重機を使用して表土を削る本格的な除草と整地を行っていただきました。これで生徒が地面の凸凹で捻挫する危険を減らすことができました。来年度は自前のレーキで整地ができるよう準備中です。

同窓会及び町関係者の皆様のご厚情に感謝申し上げます。



## ★ 部活動各種大会の結果

【バスケット】・地区新人大会10/30~31(久慈市)

リーグ戦 太野 102-24 久慈工 太野 51-90 久慈 太野 59-80 久慈東 ※地区3位通過で県大会出場

## ★ 学校の様子 (10月後半～11月前半の校内行事から)

### LHR「防災について考えよう」(10/19)

特別養護老人ホーム久慈平荘との合同避難訓練が、コロナ禍で実施が見送られたため、その代替措置として、ロングホームルームの時間に県教育委員会発行「いわての復興教育」副読本『いきる かかわる そなえる』を使い、地域におけるボランティアや救援活動等について、誌上で学習を深めました。



### 生徒作成ハロウィンイラスト寄贈(10/21)

2年生ビジネスコースの家庭科の授業で、生徒11名がハロウィンのイラストを作成し、10/21(木)、大野こども園と久慈平荘に寄贈しました。子どもたちからお年寄りまで、皆さんが happy ハロウィンの明るい雰囲気を楽しんでもらえるよう、生徒は皆、心を込めて描きました。



### 衛生委員会(10/28)

本校の産業医でありかつ学校医の、大野診療所長、中村晴彦先生をお迎えし、衛生委員会を実施しました。労働者数50人未満の事業所では衛生委員会設置の義務はありませんが、本校では中村先生の勧めで、職員健康障害防止のため毎年開催しています。



### 3年保健講話(11/2)

「体重の管理と生活習慣病」と題して、県立軽米病院長の横島孝雄先生より、3年生を対象に保健講話を行っていただきました。本県の健康課題の現状や、一人暮らしを始めるに当たって留意したい健康管理の方法等をお話いただき、生徒は真剣に耳を傾けていました。



### こころのサポート校内研修会(11/9)

日頃、生徒がお世話になっているスクールカウンセラーの佐々木健行先生を講師として「子どもの気持ちをどのように受け止めるか」と題し、教員対象の研修会を行いました。相談者の発言の整理法や、「伝え返す」という聴き方の手法等について学びました。



### 自動車学校通学許可証交付式(11/16)

進路決定者のうち、希望のあった13名の生徒に対し、今年度1回目の自動車学校通学許可証交付式を行いました。生徒代表から、高校の学業を優先すること、費用を工面してくれる保護者に感謝すること、交通法規や運転マナーを真剣に学ぶことが宣誓されました。



## (クローズアップ) 薬物乱用防止教室10/26(火)6校時 於本校体育館



### 【生徒の感想】

・「今回の講話では税関職員の方がどのようなことをしているかを知れたし、ハンドラー(調教師)の方のお話も聞くことができ、ハンドラーという職もいいな、と視野が広がったと思います。薬物の怖さを理解しながら、甘い誘いに乗らず、そのような人に出会わないようにしたいです。」(2年女子)

・「コロナウイルスの影響で物流が打撃を受けていた昨年度ですら、たくさんの違法薬物が密輸されていたことに驚いた。また、税関の仕事についてあまり知らなかったけど、日本の安全を守ってくれている仕事なのだとして良かったです。これから社会に出て行く上では自己管理が大切になっていくと思うので、『ダメ、絶対』を忘れずに過ごしていきたいです。」(3年男子)

## ★今後の主な予定(12月～1月)

12/14(火)～16(木)三者面談  
 12/15(水)2年GTEC(ベネッセ英語4技能検定)  
 12/24(金)終業式  
 12/26(日)～28(火)3年進学課外  
 12/29(水)～1/3(月)学校閉庁日 ※留守番電話対応  
 1/4(火)～9(日)3年進学課外  
 1/5(水)～7(金)1・2年冬季課外  
 1/11(火)始業式・休み明けテスト・学校安全の日

1/13(木)自動車学校通学許可証交付式②  
 1/14(金)漢字検定③  
 1/15(土)大学入学共通テスト(1日目)・1・2年進研模試  
 1/16(日)大学入学共通テスト(2日目)  
 1/26(水)高校推薦入試 ※在校生授業あり  
 1/27(木)～2/1(火)3年後期末考査  
 ※ 諸般の事情により、急遽、中止、または日程・内容の変更を行うことがありますのでご了承ください。